

第9回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（古江台、藤白台、青山台地域）
 開催日時：平成29年7月24日（月）午前10時～ 場所：北千里地区公民館 参加者数：17人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
	1	<p>古江台地区はニュータウンの特性に違わず、高齢者世代と子育て世代の二極化が進んでいる。自治会加入率は90%を維持しているが、若い世代の自治会活動に対する理解が希薄になっていると感じる。</p> <p>自治会活動や地域活動を活発にするための提案の一つとして、行政が地域に協力を求める施策は、連合自治協議会を窓口として実施するだけでも、地域の連帯感が高まると思われる。地域住民が自治会に加入するとメリットがあるような取組みを考えることが、両者によりよい結果をもたらすと考える。例えば、市が作成した要援護者名簿の活用は地域全体で取り組まないと、現在の自治会・諸団体活動の中ではとても消化できない。要援護者名簿の活用を市がバックアップすることも、地域住民が自治会に関心を持つような援助の一つと考える。</p> <p>また、市報すいたでは各種情報が発信されているが、これを地域の市民ホールを中心とした情報の発信を行うことによって、市民ホールを中心とした情報のネットワークを構築することは考えられないか。これも地域活動が活発になる一つの方法と思う。</p>	<p>(市長回答) 自治会活動に対する理解が希薄になっている。これは全地域で同じ意見が出ている。高齢化と加入者の低下である。</p> <p>(住民意見) 新しく建つマンションには初めから自治会に加入してもらおうと思っているので、マンションの加入率は上がっていくと思うが、高齢者の方の加入が減ってきている。そのバランスをどう考えていくか。何かメリットがあればと思う。</p> <p>(市長回答) ボランティア精神は逆に上がってきている。その受け皿が自治会ではないのが今の状況。となるとテーマ性で活動するということが1つの出口があるかもしれない。</p>
古江台	2	<p>古江台小学校は避難所に、グラウンドは自主防災の災害対策本部になっている。避難所の運営に必要なものは種々あるが、夜間避難が必要な状況になった場合、照明のないグラウンドでは、暗闇の中、どのように避難誘導すればいいのか。少なくとも避難誘導できる程度の照明設備は必要と思う。</p>	<p>(市長回答) バッテリー式のLED照明を小中学校に配備している。</p>
	3	<p>古江台では「古江台方式」というマンション建設の指針を作成している。市の「千里ニュータウンまちづくり指針」に沿って「古江台方式」を改正して10年ほどになるが、最近この指針を都合よく解釈し、問題ないとしてマンションを建設することがある。この指針は建設されるマンションの周辺住宅に配慮し、少しでも良好な地域環境を維持するための「方式」である。市も地域に配慮した建設となるよう尽力しているが、指針の見直しも必要ではないか。本来低層住宅と中高層住宅の間に中間の高さの住宅地帯があれば問題ないが、平均地盤面の取り方で建物の高さが市民常識と異なる高さで建設できることは指針の精神に反するものである。これが修正されれば指針の精神に合致した建物の高さの指針となり得る。</p> <p>また、古江台には狭小住宅はない。しかし、法律上建築可能な地域はニュータウンに存在する。地域の住環境は住民が長年育んだものなので、戸建て住宅を建築する場合は、周辺と同等の敷地面積にするように指針に明記されたい。</p>	<p>(市長回答) 各地域でこれに類する課題がある。ここ数年吹田は人口が増えている。建築基準法や都市計画法に合致した開発であれば、法に基づいて建てることができ、今のような状況になる。開発事業者を規制するには、ある一定の指針を持って企業のCSR精神に訴えかけるなど市が水面下で誘導していくしかない。</p>
藤白台	4	<p>公園及び周辺道路の環境整備に関して</p> <p>1 千里ニュータウンは緑豊かな町であるが、川沿いの桜並木は枯れたり弱った姿が目立っている。府道では、大きくなり過ぎた街路樹を植え替え始めているが、市道や公園の管理はどのようにする予定か。</p> <p>また、以前よりも除草範囲が狭くなったり、除草回数が少なくなったと感じている。ニュータウンの公園の植生は市による年2回の除草作業によって、昔の里山の植物が独特な形で再生されていると環境団体の方から聞いたが、今後の管理はどのようにするのか。</p> <p>2 平成元年以来になると思うが、水遠池周辺の整備が計画されているようである。佐竹公園では、10年以上前に水辺に近づける工夫がされているが、誰もが水辺に近づける整備を希望する。</p> <p>3 最近、ピアノ池の水質が悪くなっている。過去に、吹田市民環境会議の皆さんと、自治会が協力して池さらいなどをしたと聞いたが、水質管理はどのようにしているのか。</p> <p>4 何年か前、万博公園の樹木管理のことが新聞に載っていた。植えたまま放置しては、多様な植生が逆に失われるため、適正な管理をしていく必要があるとのことであるが、千里北公園ではどのような計画があるのか。</p> <p>5 PCBの処理が、全国的には道半ばだとの記事があった。本市ではどのようにしているのか。</p>	<p>(市長回答) 安全のため樹木健全度緊急調査を行った。結果に基づき適切に管理をしていく。</p> <p>ため池に柵は必要である。溺れたら市の責任である。行政は対応せざるを得ない。</p> <p>ピアノ池について、地域の方で水草を取って、良い状態を維持する取組がされていることは誇るべきことである。真っ青になったり、臭いがするなど限度を超えた場合は行政で浚渫(水底の土砂をさらうこと)しなければならないと考えている。</p> <p>樹木管理については、樹木適正管理指針を作成中である。吹田の誇りである緑の維持管理をしっかりとやっていきたい。</p> <p>PCBの処理は吹田市では所管する部署はなく、大阪府が所管である。</p>

第9回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（古江台、藤白台、青山台地域）
 開催日時：平成29年7月24日（月）午前10時～ 場所：北千里地区公民館 参加者数：17人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
藤白台	5	<p>子育て環境について</p> <p>1 この春、社会福祉法人経営の保育園の問題が新聞・テレビで報道された。幼い子どもが何も言えないことをいいことに、福祉の名前とは背反する実態に驚くばかりだった。吹田市では、どのような対策をしているのか。</p> <p>2 北千里保育園と古江台幼稚園を統合した認定こども園は、北千里保育園から考えると、保育環境として明らかに狭苦しいものである。3歳を超えて活動的になる子どもたちが心ゆくまで外遊びができず、狭い中でけがをするのではないかと心配で、預けたくなくなる施設とは言えない。駅に近い、北千里保育園の現在地に、北千里保育園を早期に復活されたい。</p>	<p>(市長回答)</p> <p>5番と6番は共通として回答する。</p> <p>保育園の待機児童の問題は、市全体の問題として厚生労働大臣とも直接話す場があったが、質は落とせないという吹田市の方針を訴えた。今後、開発により保育を必要とする子どもたちがどれだけ発生するかということマーケティングし、常々更新していく。</p>
	6	<p>建物が老朽化する中で、藤白台地区の未就園児が多く、今後待機児童となることは明確になっているが、吹田市として3年以内の北千里保育園の存続や藤白台保育園も含めた考えをお聞きしたい。</p>	
	7	<p>藤白台小学校は、現在普通学級が18クラスあるが、数年以内に各学年1クラス増える勢いにある。余裕のある今のうちに、プレハブ校舎を2階建てに改築して、子どもたちの学校生活に支障のないようにされたい。</p>	<p>(市長回答)</p> <p>子どもにとっての教育環境は一定の幅にあるべきである。開発については、教育環境にとってどうかということをもまず第一に考えていく。今、教育委員会とも議論を進めている。</p>
	8	<p>北消防署移転・再整備について</p> <p>市では、救急隊の2隊増設やレスキュー隊の増設など市民の安心感を高める計画が昨年あったが、北消防署の新たな整備内容について聞きたい。</p>	<p>(市長回答)</p> <p>南千里の駅前に庁舎を設ける。北の防災拠点をつくるという考え方である。北消防署と中消防庁舎を集約し、一部の機能は北消防署に残しつつ、全体として消防力を強化することを考えている。</p>
	9	<p>藤白台新聞によると、豊中市では大規模な救命講習活動を行い、そのための人や資材を準備して学校、職場、地域で講習修了証を持つ人は数万人単位と報じている。災害に強いまちづくり、人づくりには有効であるので、本市でもお願いしたい。</p>	<p>(市長回答)</p> <p>よく調べいただきたいと思う。吹田のほうが進んでおり、延べ10万人を超えた講習修了者がいる。</p>
	10	<p>高齢者見守りは、身近な住民間で行われるのが一番有効だと思う。そのための日常の近隣関係は大切である。しかし、高齢者が自宅に閉じこもることで高齢者が力を失い、住民としての意識をも失うことになり、コミュニティから孤立する事態となっている。誰もがふらりと立ち寄れるような場所が、千里ニュータウンの計画された街区にはない。いわゆる通所施設や地区集会所はそのようなことを前提にしていなかったため、多世代が交流する身近な場所を再開発計画の中で府に確保させ、社会福祉法人の地域活性化事業を行う場として提供できればと思う。</p>	<p>(市長回答)</p> <p>法人を公募する際に地域貢献を求めていく。その一部として高齢者のコミュニティ施設をつくることもあると考える。</p>

第9回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（古江台、藤白台、青山台地域）
 開催日時：平成29年7月24日（月）午前10時～ 場所：北千里地区公民館 参加者数：17人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
藤白台	11	<p>北千里駅前再整備について これまで長く膠着状態で、北千里地区では時間がかかっているうちに国循の現地建替がなくなった経緯もあり、時間がかかることへの不信感が住民にある。「北千里小跡地も使って、早く結論を」の真意はそこにある。 しかし市から提案された北千里小跡地への公的施設移転プランは、駅に隣接した「いい場所」を使っておらず、住民にとって使い勝手がいいものになるどころか今より使いづらくなる。 駅前のにぎわいを保ちどの年齢層にも使いやすい駅前にするには、公民館、図書館、子育て支援施設等の公的施設を改札に近い位置に再配置することが有効である。 府が売ろうとしているディオスー番館の場所などを利用して、にぎわいの核をコンパクトに再構成する考えはないか。 公的施設の再整備に際して、市は建物を所有する必要はない。民間保有の建物に公的施設がテナントとして入居する施策は全国で行われているが、市の考えはあるのか。（例えば、一時的に遊んでいるイオンの上層階のフロアを借りるなどして、工事中の使用場所を確保してもよい） 北小跡地の活用については、青山台側は住区活性化のため住宅系に売ってもよい。駅から離れた国循跡地に大量の住宅導入を許し、駅に隣接した北小跡地に住宅を入れないのは矛盾である。「始発駅の駅近」を市は強気に使い財源を確保してはどうかと考えるが、いかがか。</p>	<p>(市長回答) 公共施設(公民館・図書館・児童館・コミュニティセンター)の設置について、北千里駅周辺活性化ビジョンの中には北千里小学校の跡地は入っていないが、そこ関係を抜きにして北千里周辺の再整備はありえない。今は北千里小の校舎の跡地及び駅前での整備に向けて検討しているところである。 イオンの上層階のフロアを借りる例は、私が言い出したものである。あのスペースは実にもったいない。何かできないかとは思っている。</p>
	12	<p>北消防署現在地周辺の道路は車線が複雑に輻輳し、小野原からの交通量もふえ信号待ちが長くなり危ない。消防署跡地も使い周辺道路を再構成し、安全性、通やすさを高めるチャンスと考えるが、いかがか。</p>	<p>(市長回答) 吹田警察に要望はしている。ただ、大渋滞をしているわけではなく、譲り合いのレベルである。課題ではあるが他の地域の交通問題と比べると優先順位は低い。</p>
	13	<p>万博西口～三ツ辻の府道未拡幅部分の整備を早く進めるよう働きかけられたい。国循の移転後、北千里地区と岸部を結ぶ重要なメインラインになる。</p>	<p>(市長回答) 用地の買収は、なかなか難しい。</p>
	14	<p>藤白台1・3丁目の府営住宅建替が進み、第2・3期工事が完了すると、それぞれ2万7,000㎡、1万5,700㎡、合計4万2,700㎡の活用地が生まれる。 既に3丁目活用地に阪急不動産の180戸の共同住宅の建設が計画されているが、高層共同住宅の開発には反対意見が連合自治会に提出されている。 藤白台地域は近年、人口が大きく増加している。前述の活用地に高層共同住宅が建設されれば、約800戸増え、小学校や保育所の施設が大幅に不足することが予測される。国循跡地に住宅が建設されれば、教育施設や高齢者福祉施設も大きく不足する。市として、小学校対策、府営住宅跡地を活用し保育所・高齢者福祉施設の設置、住宅増加の抑制策について考え方を示されたい。</p>	<p>(市長回答) ハイレベルな住宅をつくるような指針を市が持って、開発がしにくいという社会圧を与えていくのが正解であると思う。法人の開発の権利は保障されているので、うまくやっていきたい。</p>
	15	<p>吹田市は平成32年に中核市を目指しているが、今後の「子育て」「福祉」「地域コミュニティ」に関する方向性と中核市になった際に市民に対して行政として可能になる業務及び、地域に直接出てくるメリットを教えていただきたい。</p>	<p>(市長回答) 中核市になって1番大きな仕事は保健衛生である。保健所の設置である。ヒアリ、鳥インフルエンザ、今は全部大阪府の吹田保健所が所管しており、吹田保健所で得た情報は大阪府に行く。吹田市にはこない。ノロウイルスもそうだった。そういう意味でいえば、保健衛生の自治というのは吹田市は非常に弱い一般市である。人口は約38万人でこれから40万人になろうとしており、中核市に移行しましょうではなく、既に中核市であるべき存在だと思っている。</p>

第9回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（古江台、藤白台、青山台地域）
 開催日時：平成29年7月24日（月）午前10時～ 場所：北千里地区公民館 参加者数：17人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
藤白台	16	<p>民生委員法に「地域の高齢者を随時把握し…」との記載があるが、現在、敬老会行事用の高齢者名簿しかなく、吹田市役所の個人情報審議会の内規では、そもそも敬老事業以外の使用が禁止されており違反状態である。吹田市は、そのことも含めていつまでに改善され、地域の高齢者に対して民生・児童委員に正しい事業を行えるようになるのか。市長宛ての文書に対して、福祉部長からの文書での返答で、早急に対応する旨の記載があったが、返答いただいて早くも3か月が経過しており今だに進展はない。個人情報審議会自体は、案件があれば開催するとのことを別の部署にて確認したが、上記内容は市役所としての案件ではないのか。</p> <p>地域の方々は自助・互助・共助をしているが、行政として現段階が違法な状態にも関わらずそもそも改善する気がないのか。</p> <p>改善する気があるのであれば、市長として、いつまでに改善される予定か。</p>	<p>(市長回答) 行政が個人情報を行政以外の人に渡すのは非常に危険である。守秘義務を持っている相手にしか渡せない。その辺りが壁になっている。</p>
	17	<p>市役所内において、特に福祉部門の担当窓口が細分化され過ぎており、一つの事柄を解決するために複数の部署を行き来することがある。</p> <p>また、他部署の事柄は「知らない」「そちらで聞いて」とあしらわれる始末。総合的な窓口及び職員への教育を徹底する必要性を感じているが、今後の対応は。</p>	<p>(市長回答) 1つは接遇の問題。何で答えられないか、何で他部署で聞いてもらわないといけないかを言っていないから。福祉部門は範囲が広く、全部法律が違っていることに加え例外措置が多い。問い合わせを受けた時に「多分～」とは職員は答えられないため、他部署で聞いてもらうことになる。 1つは研修の問題。窓口で簡単に答えられる内容や専門的でないものはお答えできるよう研修していきたい。</p>
	18	<p>福祉部門、特に福祉総務課は、吹田市全域の福祉の総括をしたり、いろいろな事務局を担っているにも関わらず、地区福祉委員会を吹田社協の組織の中の一部であると誤認されたり、市長宛ての文章を勝手に第三者に開示したり、条例等で決まっている等確認もせず返答したりしている。</p> <p>献血委員の推薦に関して、「地区から推薦を行わなかったらどうなるか」との問いに「地区として献血が遅れる」等の暴言ともとれる返答。</p> <p>また諸団体の事務局の立場にも関わらず、市としての予算構成上の作業や、手続き上の業務の煩雑さを優先して、団体の方へ助言を行う等、目に余る現状である。</p> <p>個人情報の問題や、市役所の職員としての行政サービスを軽く考えているとしか思えない。地域住民に対しての行政サービス、特に福祉を総括する部署として余りにも稚拙であるとか言いようがない。それらに対する今後の市長としての対策は。</p>	<p>(市長回答) 献血推進員の推薦が滞ると、地域における献血活動に影響があるのは当たり前の話である。正しい事を正しく言うだけであるが、言い方の問題だと思う。これ以前にどんな会話があって、どんな感情のこじれがあったかわからないが注意していく。</p>
	19	<p>地域包括ケア会議について 今まで千里ニュータウンブロックでは、ブロック別ケア会議は8地区輪番制で地区福祉委員会の参加依頼があったが事例検討ばかりで、地区福祉委員会としては、到底意味がない。</p> <p>今後、より小さなネットワーク作りが地域の高齢者にとって必要不可欠であるにも関わらず、8地区全員を呼び出して会議を行うことは時代に逆行していると考え。行政並びに福祉施設が地域の高齢者の現状を把握したいのならば、地域に下りて来るべきと考え。行政として2025年に向けた上記を含めた対応策をお聞きしたい。</p>	<p>(市長回答) どういう地域包括ケアのシステムがいいのか試行錯誤中である。グループワークをしながら具体的な対応策を練っているところである。</p>

第9回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（古江台、藤白台、青山台地域）
 開催日時：平成29年7月24日（月）午前10時～ 場所：北千里地区公民館 参加者数：17人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
藤白台	20	「連合自治会は祭りだけしている」とのことに関して 以前、市長が上記内容を発言されたが、当地域の連合自治会の役割は、地域のまちづくりや防犯、単一自治会への自治意識の向上、地域の高齢者や未就学児に対する諸団体との連携により成り立っていると考え。行政は、縦割りの行政を今後も続けられるかもしれないが、地域は諸団体の連携が不可欠と考え、その中心的役割が連合自治会と考える。その上で、前述のご発言の真意を聞きたい。	（市長回答） 個人、家庭、町内、近隣自治会だけでできないことがあり、典型的なものが連合自治会の祭りである。運動会や防犯も含めてわかりやすく祭りと言わせていただいた。誤解を生む発言だったかもしれない。是非祭りのほうには力を入れていただきたい。まちづくりの責任は行政にある。補完はしていただきたいが、都市計画に連合自治会がどう関わってくるか、そこはあくまでも御希望をお聞きすることに留まると思っている。
	21	市報すいた5月号に、「公共施設総合管理計画を策定」との記事があった。公共施設整備の上位計画として策定となっていたが、これまでそのような計画はなかったのか。	（市長回答） 平成29年3月に策定した。今まで個別であった吹田市の公共施設について、目的が重なっている施設を統合するなど、総合的に管理しようという計画である。
	22	藤白台地区における子育てを含めた福祉に関して 藤白台は現在1万2,300人の住民がいる。昨年度は府営住宅の有効活用で530世帯のマンションの開発が済み、今後1・3丁目府営住宅の建て替えに伴う有効活用で約1,000世帯のマンションの建設が予想される。藤白台地区は毎月20名ほどの出生があり、保育園や小学校のキャパシティが限界を迎えるほか、今後10年間で約1,500人の方が75歳以上になる。今後の保育、小学校、高齢者に対して既存施設の増築や、新設等を含めて吹田市はどのように考えてまちづくりをしているのか。	（市長回答） 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づいて、高齢者発生数を読みながら施設の整備を行っていく。
	23	藤白台小学校は周囲の学校に比べると改修工事が明らかに遅れていると思う。耐震工事とクーラー設置は行われたが、小さな靴箱(子どもたちの靴が横向きに入っている)、昔ながらの黒板、網戸のない窓、どの家からも消えた和式便器等はいつまであるのか。	（市長回答） トイレのリニューアル工事は31年度に予定、黒板、網戸の改修を含む大規模改造工事は32・33年度に予定している。
	24	吹田市災害時要援護者制度に関して、アンケートを実施してから数年経過しているが、吹田市として自治会未加入の地域に対する支援及び福祉委員会、民生・児童委員との連携に対して市長はどう考えるか。また、自治会加入世帯も同様として市長の考えはどうか。	（市長回答） 人の命に自治会加入・非加入はない。自治会に入っていない人を排除するものではない。
25	国循跡地で住宅開発をする場合、校区変更も柔軟に考えるとのことだが、連合自治会、防犯協議会、福祉委員会、青少年対策委員会、民生・児童委員、PTA、藤寿会等の地域諸団体から未就園児、保育園児、小学生に対する見守りや世代間の交流等がなくなり、地域の空洞化に繋がる可能性がある。また、それ自体が地域コミュニティの崩壊や地域自治意識の欠落、そして犯罪率の増加にもなりかねない。また、幹線道路を横断しての通学は子どもの安全を脅かす可能性がある。 行政としての意見もあるが、地域住民の声を最大限聞いてこそ、行政ではないか。極端な話をすれば地域住民としては、強制的な校区変更は藤白台5丁目を吹田市から箕面市に変更する事と同様と考えるが、市長はどう考えるか。	（市長回答） 子どもの教育環境にとってどうかということもしっかり考えさせていただく。	

第9回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（古江台、藤白台、青山台地域）
 開催日時：平成29年7月24日（月）午前10時～ 場所：北千里地区公民館 参加者数：17人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
藤白台	26	<p>国循跡地に関する土壌汚染について 建物取り壊し後、土壌汚染対策後の売却に関して市の考えはどうか。現在、フェーズ2までの調査のみであるが、本来フェーズ3まで実施されるべき内容と考える。今後、市が当地区とどう連携を行いながら、誰がいつまでに国循や財務局に対して進めるのか。</p>	<p>(市長回答) 大阪府と国循との関係で土壌汚染対策法に基づいて手続きを進めるものである。調査結果を入手して、もし求めがあれば公表させていただく。</p>
	27	<p>CO2削減に関して 省エネ法が制定され随分と経過しており、市地域内の民生部門に対し積極的な環境対策を実施されているが本庁をはじめ出先機関、教育委員会としてどのような取組をしているのか。 また、原油換算1,500kℓ以上の消費をしていると思うが、管理標準の作成の是非及び定期報告書内での今後の取組予定はどうか。また、昨年対比の今年度目標%及び昨年度の達成度合いはどうか。</p>	<p>(市長回答) 吹田市役所エコオフィスプランの策定、空調の28度設定や、LED化も進めている。エネルギーの使用の合理化等に関する基本方針における管理標準で、未設定の施設について検討を進めている。引き続き省エネに取り組んでいく。地域にもお願いしたい。</p>
	28		<p>(市長回答) 全く触れる機会がなかった青山台からお聞きしたい。 (住民意見) 総論的に言えば、福祉・環境・高齢化の問題など古江台、藤白台とほとんど似通ったかたちである。青山台の課題については、3地区のタウンミーティングの場でなく、青山台地区のタウンミーティングの場でお話しさせていただきたい。</p>
	29		<p>(住民意見) 自治会のなかで孤独死の問題を何とかできないか。良い案はないか。 (市長回答) 一人暮らしの高齢者をどう引っ張りだすかである。屋食会などもその一つ。以前参加のあった人がいないと気づきにつながっていく。職員だけでは見守ることはできないので、地域力だと思う。</p>
	30		<p>(住民意見) 市の水道部が検針で見回りをやっているが、今後も続けてほしい。 (市長回答) 委託を進めていくと、安くあがったり、職員数が減るなどシステムとしては良いと思うが、細やかさということにシワ寄せがくる。</p>
31		<p>(住民意見) 市民税の請求書の計算式がわかりにくい。市役所の職員でも8割方わからないのではないかと。自分で計算できるようにしてほしい。もう少し簡単に書いてもらえないか。 (市長回答) 請求書とは別に説明文書が同封されていると思うが、それでもわかりにくいということであれば、検討させていただく(※)。</p>	
			<p>(※)市民税課に確認したところ、「市民税・府民税税額決定・納税通知書」をお送りする際には、「市民税・府民税のお知らせ」を同封している。お知らせの中には、市民税・府民税の計算の流れを記載するとともに、具体的な計算例も載せているとのこと。 納税通知書やお知らせ等の書類をお送りする際は、今後ともできるだけ簡素化し、大きな文字でわかりやすく記載する。 なお、御不明な点などがあれば、御遠慮なく市民税課までお問合わせいただきたい。</p>

第9回 タウンミーティング（地域自治会意見交換会議）議事要旨（古江台、藤白台、青山台地域）
 開催日時：平成29年7月24日（月）午前10時～ 場所：北千里地区公民館 参加者数：17人

地域	No.	事前の住民意見	当日の住民意見・市の回答
	32		<p>(住民意見) 北千里小学校の現状の写真を撮ってきた。現状は惨憺たるもの。一刻も早く公共施設をお願いしたい。剪定をお願いしてもほとんどやってくれない。運動場とつなぐ陸橋が災害の時に落下したらどうなるか。グラウンドは草原のようである。立ち入り禁止だが、子どもがシンナーを吸っていたり、ビールを飲んでいる。室外機など高価なものをそのままにしていると盗まれるかもしれない。捨て猫、アライグマの問題がある。</p> <p>(市長回答) 一刻も早く管理をしっかり行い、新しいまちづくりを進めたい。</p>
	33		<p>(住民意見) 事前に意見書を提出した。時間の制約はあるが、できたら、生の意見をその場で答えるようにできないか。あまりにも拘り定規になってしまうと思った。 月曜日の朝10時開催というのは勤務している人はほぼ無理。夜にさせていただくなど、今後考えて欲しい。 民生委員の中では安心・安全カードを管理している。カードの記入に高齢福祉室の敬老会のデータを使用することは違反行為となっている。使用できるよう個人情報審議会に早く諮問して欲しい。</p> <p>(市長回答) 各担当で責任を持って進めているものについて、頭越しに違うことを言うことはありえない。個人としての発言はこういう場では許されていないと思う。とはいいいながらざっくばらんに話させていただきたい。 開催時間は、市民部で調整する。 個人情報審議会の問題については、通らないならその理由を答え、通るなら制度を変えるの2つである。持ち帰らせていただく(※)。</p>
	34		<p>(住民意見) 開発業者と話をしていく中で、地域全体のまとまりについては行政も中に入っていたらいい。戸数もさることながら環境を守っていくことが大きな課題になってくる。地域と行政とが一体となって大阪府等に申し入れできるよう協力いただきたい。</p> <p>(市長回答) まちづくりについては、吹田市都市計画マスタープランにおいて、福祉、教育面など枠組みはできている。行政の政策と地域の思いが一致した時に初めて効力を発揮する。そのことができる数少ない地域だと思っている。引き続きお力をいただきたい。</p>

(※)後日、福祉総務課に確認したところ、関係部署と協議の上、個人情報の適正な取扱について10月末までに決めていくとのこと。